

平成 26 年 12 月 16 日 (火) 午前 8 時 43 分～ 8 時 50 分



今日は伊佐市大口大田の、医療法人慈和会大口病院で「MBC ラジオポニー号」が「モーニングスマイル」の中継を行いました。

ポニーメイツの柊さんが、大口病院事務局長の内山 和行さんにお話を伺いました。

～医療法人慈和会大口病院の安全管理取組状況～

医療法人慈和会大口病院は精神科、心療内科、内科の診療科があり、認知症治療病棟も併設され、医療・福祉に関する事業を行っており、社員数 215 名、病院送迎車両が 17 台、通勤車両が 215 台です。

当院は昭和 29 年に設立して、今年で 60 周年という記念すべき節目を迎えています。記念すべき節目の今年、将来を見据えて病院の再整備計画が進められています。

職員に対する安全運転や交通事故防止の意識付けとして、年末年始の交通事故防止運動のスローガンにもある「マナーアップで事故防止」を基本にしながら安全旗の掲示や毎月開催される職員会議での啓発をしています。

また、交通安全運動期間中は病院前の国道で朝の職員の出勤時間に合わせて職員が交代で横断旗を持って立哨し、国道を横断する際は必ず信号機を利用して横断するように呼びかけています。

「高齢者の交通事故防止」にも取り組んでおり、“思いやり運転”を励行していますが、具体的な内容として、高齢の横断者を見かけたら速度を落とし、「だるう運転」を心がけるようにしています。

また、「3（サン）ライト運動」の取り組みとして、病院車全てにステッカーを取り付け、啓発を行い、一般の車両に対してもキャンペーンなどを実施し、早めのライト点灯を呼びかけています。

飲酒運転根絶については、伊佐市は焼酎の古里で、私自身も焼酎が大好きですが、焼酎の古里の名に恥じないように、「飲んだら乗るな！乗るなら飲むな！」を徹底し、「ハンドルキーパー運動」も含めて、「目指せ最下位～ゴールは飲酒運転0～」ということで飲酒運転根絶へ向けて職員への呼びかけをしています。

また、鹿児島県安全運転管理協議会のスローガンでもあります「安全なくして繁栄なし」を基に安全5則であります

- ① 安全速度は必ず守る
- ② カーブの手前でスピードを落とす
- ③ 交差点では必ず安全を確かめる
- ④ 一時停止で横断者の安全を守る
- ⑤ 飲酒運転は絶対にしない

この5つの約束をいつもこころにゆとりと思いやり運転を心がけるように指導を行っています。

